# ラレルソン

|  |  |
| --- | --- |
| 発明 | アクアート帝国 |
| 発明年 | 1455年 |
| 全長 | 135cm |
| 射程 | 100m |
| 火薬の量 | 17g |
| 火薬の物質 | 硝石・硫黄・木炭 |
| 着火方式 | 火縄式 |
| 質量 | 8.2kg |
| 口径 | 17mm |

アクアート帝国がオーリンループ大陸で他国との領土争いで使用した火縄銃。オシャルソン・モウスケンが開発し、その後量産された。非常に威力が高いがその分重量も必要な火薬量も多いため、あまり戦闘向きではなかった。後に威力はそのままに軽量化し、必要な火薬量も減った改良型であるラレルソン・ハザック[[1]](#endnote-1)が出て以降現役を退いた。

# ラレルソン・ハザック

|  |  |
| --- | --- |
| 発明 | アクアート帝国 |
| 発明年 | 1459年 |
| 全長 | 132cm |
| 射程 | 110m |
| 火薬の量 | 15g |
| 火薬の物質 | 硝石・硫黄・木炭 |
| 着火方式 | 火縄式 |
| 質量 | 6.4kg |
| 口径 | 17mm |

ラレルソンの改良型バージョン。軽量化され射程距離も少し伸びている。撃った時の反動も少なくなり戦で使用しやすくなった。その結果多くの軍がこの銃を採用するようになり、軍の中で幅広く普及していった。

1. アクアート語で「手頃」の意味 [↑](#endnote-ref-1)